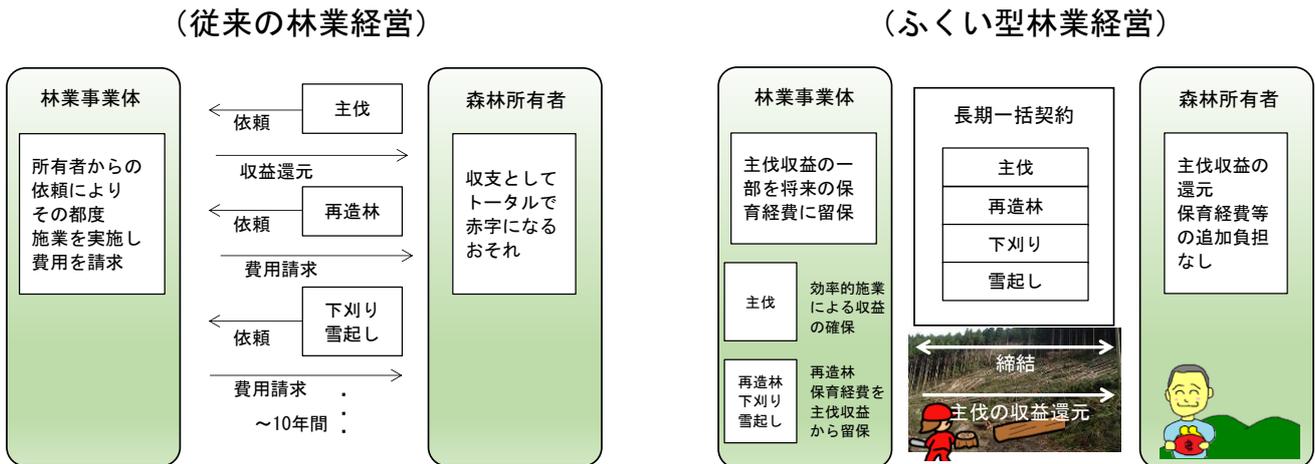


ふくい型林業経営モデルの構築について

モデル構築の目的

- ・ 儲ける・稼げる林業を実現し、森林資源の循環利用による持続的な林業経営を行うためには、これまでの間伐中心の林業経営に加えて、主伐・再造林に取り組む必要がある。
- ・ 現状は、森林所有者が山の管理にかかる経済的・精神的な負担を敬遠することや、林業事業体においては主伐・再造林にかかる収支の見込みが立てづらいつらといった事情から、主伐・再造林が進んでいない。
- ・ そのため、県では、今年度に主伐・再造林のコスト分析による効率的な施業マニュアルの作成や「主伐から再造林・保育を含む長期一括契約」といった新たな山林管理手法を検証することで、主伐による森林所有者への収益還元や、その後の再造林・保育といった管理負担を解消する「ふくい型林業経営モデル」の構築を目指すこととしている。

モデルのイメージ



モデル構築のための検証等内容

- (1) 効率的な主伐・再造林のためのコスト分析 (過去のデータ分析含む)
- (2) 森林所有者との長期一括契約締結の検証
- (3) 主伐施業地における検証 (2か所) ※今回の取組み